

## 令和2年度ボランティア活動奨励賞受賞団体一覧

1	団体名	特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校		
	代表者	関山 隆一		
	所在地	横浜市都筑区	活動開始時期	平成19年4月
	活動分野	子どもの健全育成		
	活動の概要	小学生を対象とした自然体験の場「もあなキッズアースビレッジ」の提供や環境問題に関する体験と学びの活動「地球の日」の実施		
選考理由	<p>2007年に「もあなキッズ自然学校」を設立して以来、ユニークな「森のようちえん型」の保育事業・学童放生事業を通して、自然体験活動を中心とした子どもたちの健全な育成環境を提供するとともに、自然体験活動を経験して育った子どもたちが未来を創る礎となるよう、明確なビジョンのもと事業を展開してきていることを評価しました。</p> <p>また、子どもたちが生活の中で主体的に環境問題について考える経験が、大人たちにも大きな影響を与えていることが見て取れました。近年では、小学生を対象とした「もあなキッズアースビレッジ」、「地球の日」や「海山eco」を実施し、子どもたちが身近な環境問題を通して地球全体の課題について主体的に考え発表する機会を提供しており、活動の充実がうかがえます。</p> <p>今後は、これまでの活動から得られた環境教育に対するノウハウや 専門家とのネットワークを生かして、より多くの子どもたちにもあな キッズ自然学校のプログラムや考え方がより広く行きわたるような取り組みを期待します。</p>			
2	団体名	カベラ日本語の会		
	代表者	林田 雅之		
	所在地	平塚市	活動開始時期	平成4年5月
	活動分野	国際協力		
	活動の概要	日本語を母語としない人向けの日本語教室を通じた生活支援等の実施		
選考理由	<p>日本後を母語としない市民に対し、日本語支援を通じた生活の困りごとを解決する活動を、28年という長い期間、続けていることに敬意を表します。団体そのものは決して大きいとは言えないかもしれませんが、中心で活動する会員が高齢化したり、それにともなって活動の幅を狭くしたりする団体も少なくない中、緩やかな会員の入れ替えもありつつ、社会状況に合わせ、身の丈にあった活動を地道に行ってきたと推察します。</p> <p>活動の中で特に目を引いたのは、独自の「ボランティア実践ノート」の作成です。日本で暮らす外国籍市民への支援団体は県内にも多くありますが、支援を「する側」の視点を集め、多くの人活用できる成果物を作り出したことに感心しました。内容はもちろん、必ずしも会員の生活に直結する内容ではないにも関わらず、多くの知識やアイデア、自らの経験から感じたことなどを持ち寄り、3年という長い時間をかけて完成させたことはとても素晴らしいと思います。今後、同じ志を持つ方々にとって、役立つ1冊となることでしょう。</p> <p>これだけの長い活動です。会を巣立った外国籍市民の方も、地域に多くいらっしゃるのではないのでしょうか。さらに、その「卒業生」の方が会に支援する側として加わる流れが生まれれば、活動がより幅広く、豊かなものになるのではないかと思います。今後のさらなる発展を期待しております。</p>			
3	団体名	特定非営利活動法人アクションポート横浜		
	代表者	高城 芳之		
	所在地	横浜市中区	活動開始時期	平成20年9月
	活動分野	団体の運営又は活動に関する連絡、又は援助		
	活動の概要	NPO インターンシップの実施やその全国モデルネットワークの構築、学生と地域のパートナーシップ活動の表彰等の実施		
選考理由	<p>大学生とNPOのマッチングを一過性の体験で終わらせず、インターンシッププログラムという形を採ることで、若い人材の育成を図り、現場の活動にしっかりと</p>			

		<p>定着させてこられたことを高く評価いたしました。また、構築したノウハウを県内外に波及させるとともに、近年では学生が団地内に居住して活動することを支援するなど、取組みの広がりや深さに発展が見られること、さらに各取組みを実行委員制のプロジェクトとし、若者の自主性が重んじられていることなどは、他団体のモデルとなるものです。貴団体自身も3年前に世代交代により組織体制の刷新を図られた中で、今後も事業全体のコーディネートを担う中核人材を育て、人件費等を捻出するための安定的な資金源の確保に努めつつ、大学生や卒業生が息長く地域の活動に関わっていただける仕組みの一層の充実を図っていかれることを期待しております。</p>		
4	団体名	特定非営利活動法人 Spitzen Performance		
	代表者	多田 久剛		
	所在地	相模原市南区	活動開始時期	平成28年4月
	活動分野	学術、文化、芸術又はスポーツの振興		
	活動の概要	チャレンジドチア、パラチアの普及と、障がいのある子どもたちを対象にした幅広い地域スポーツの振興と国際交流事業		
選考理由	<p>障がいの有無にかかわらず、一緒にできる競技として、「チアリーディング」という活動は、新しい分野にチャレンジする独自性が認められ、神奈川発祥のプロジェクトとして評価できます。既に北海道や千葉県への波及効果が見られ、2021年にパラリンピックが開催されれば、更に広域への広がりが期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>運営体制の面でも、専門のインストラクターや、医師、作業療法士などにも協力を得るなど、堅実な運営基盤が構築されています。ただ、収益事業的な側面が強いことが気になるところで、本事業をボランティア活動の一環として位置づける工夫はできないものかと考えます。</p> <p>今まであまり知られていないチャレンジドチア、パラチアは、障がいのある子どもたちにとっても自己肯定感が持て、大きな目標に向かって取り組める活動であり、素晴らしいと思います。ただそれだけに、この活動をできるだけ多くの方々に広め、手を差し伸べ、環境が整わない方々へのアプローチも積極的に進めていくことを期待します。</p>			
5	団体名	with ネットワーク		
	代表者	長田 恵美子		
	所在地	横浜市都筑区	活動開始時期	平成9年4月
	活動分野	保健、医療又は福祉の増進		
	活動の概要	障がいのある方と地元の音楽グループとのジョイントコンサートや物販、作品展の実施		
選考理由	<p>24年前、「音楽発表の場を持ちたい、ステージで歌いたい、輝きたい」という熱い思いを持った一人の「障がいのある方」との出会いがきっかけとなり、音楽が好きな「誰」でもが音楽発表ができる「場（コンサート）」をつくることを皮切りに、年を重ねるごとに障がいのある方によるバンド演奏、障がい者団体による生産品目の出店、絵画・絵手紙の製作などへと、単に障がいのある方も「参加」するイベントから、「共に（一緒に）」企画開催するイベントへと進化させてきたことを高く評価したいと思います。</p> <p>今後は、さらにこれらの「つながりや絆」を持続して支えることができる「安定的な複数の基盤づくり」に取り組んでいただき、「音楽を核」に多数の障がいのある方や地域住民の方々が活躍できる「場づくり」を、年1回のイベントにとどまらず、より一層充実させていただきつつ、最終目標とされている「世代を超えてバリアフリーな社会に貢献する」ことを目指し、進んで行かれることを期待しています。</p>			